

令和6年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	南アルプス市有野～飯野	地区名	(主) 韮崎南アルプス中央線 (旭有野バイパス (有野～飯野工区))	事業主体	山梨県
------------	------------------------	--	-------------	-------------	------------	---------------------------------------	-------------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H29～R6	—	H29～R13
総事業費	850 百万円	— 百万円	1,500 百万円

(1) 事業の概要

① 事業目的及び効果

本路線は、韮崎市の国道20号交差点を起点とし、中央市の国道140号交差点に至る全長約3.4kmの主要幹線道路であるが、南アルプス市有野地内は、幅員が狭く、カーブが多いため、通行に支障をきたしており、地域の住環境に悪影響を与えている。周辺には、社会福祉村施設や工業団地が点在しており、白根ICや南アルプスIC方面からこれらの施設への利便性やアクセス性が課題となっている。また、白根源小学校に通学する児童の脇を通過交通が走行し、交通事故の危険性があることから、早急な道路整備が望まれている。

□ 主要目標 ○市町村中心地、大規模拠点施設へのアクセス向上
 ・道路改良率：58.7% (事前評価時) < 65% 以下 ※
 ・混雑時走行速度：29.7km/h (事前評価時) < 30km/h 以下 ※
 ※評価基準値

□ 副次目標 ○歩行者等の安全性の確保

□ 副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保
 ○バリアフリー化の促進

② 事業概要

道路改良 L=1,540m W=6.5 (13.0) m

③ 全体計画

		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降
現計画	工事内容	測量設計 用地取得・補償 道路改良 L=1440m	道路改良 L=100m	
	事業費	790 百万円	60 百万円	
変更計画	工事内容	測量設計 用地取得・補償 道路改良 L=700m	用地取得・補償 道路改良 L=220m	用地取得・補償 道路改良 L=620m
	事業費	668 百万円	145 百万円	687 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

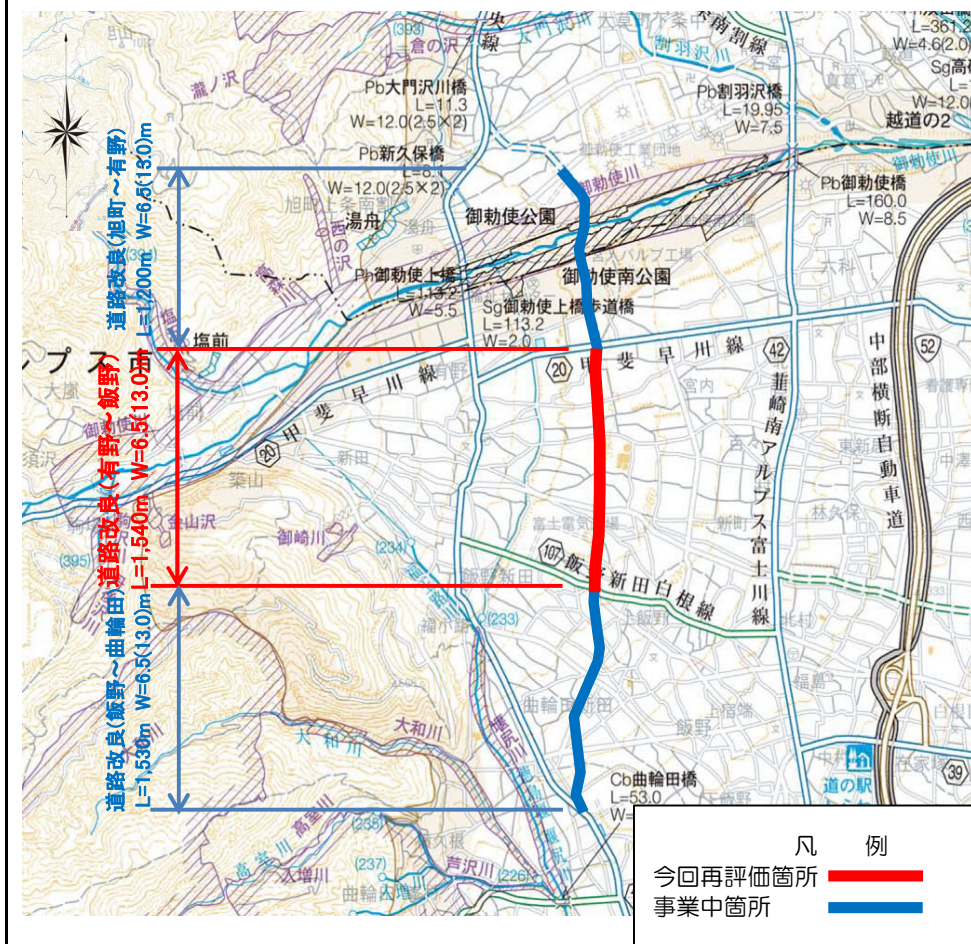
④ 特記事項 (関連事業概要等)

旭有野バイパス (韮崎市旭町上条南割～南アルプス市有野)
 H20～R9 L=1,200m W=6.5 (13.0) m
 旭有野バイパス (南アルプス市飯野～曲輪田)
 R4～R11 L=1,530m W=6.5 (13.0) m

⑤ これまでの評価状況

なし

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

・変化なし

②産業・経済情勢

・変化なし

③国等の方針

・変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和6年3月改定）

⑤自然環境条件等

・変化なし

⑥その他

・変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		850	百万円	1,500	百万円
工期		H29~R6		H29~R13	
評価基準年		H29		R6	
経済 効率性	費用	832	百万円	1,565	百万円
	建設費	702	百万円	1,435	百万円
	維持管理費	130	百万円	130	百万円
	その他()	0	百万円	0	百万円
	便益	1,159	百万円	3,089	百万円
	走行時間短縮	902	百万円	2,756	百万円
	走行経費減少	221	百万円	235	百万円
	交通事故減少	36	百万円	41	百万円
	その他※	0	百万円	57	百万円
	B/C		1.4		2.0

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

（3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率(現計画)100.0%→(実績)95.5%→(変更計画)54.1%

②進捗率実績が計画と相違している理由
用地取得に時間を要していることによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
右折車線の追加	150 百万円 増	関係機関協議により、「徳島下交差点」に右折車線を設置したため
舗装構成の変更	100 百万円 増	土質試験結果から、舗装構成を変更したため
横断水路工	100 百万円 増	水路管理者との協議により、横断水路をボックスカルバートに変更した。
補償費	300 百万円 増	建物や農業施設(畑灌)等の補償物件数が想定以上であったため
合計	650 百万円	

※事業費増額には資材・労務単価上昇分を見込む

④事業期間の変更理由及び進捗予定

用地取得に日数を要したたことにより工事進捗が遅れているため、工期を7年延長するが、用地取得済区間から順次工事を発注し、早期の整備効果発現に努める。未契約用地については、継続して用地交渉に努め、令和13年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

早期に未契約用地を取得し、計画的な工事発注を行うことで事業進捗を図る。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト削減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 **継続・見直し継続**・その他()

(理由)

本事業は、現在事業中の他工区と併せて整備することで現道交通※が転換され、白根ICや南アルプスICから社会福祉村施設や御勅使工業団地等へのアクセス性の向上が図られるとともに、通学児童等、歩行者の安全を確保する上で必要な事業であることから、事業費と事業期間を変更し、継続する。
(※ 現況交通量 8,456台/日)

○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法:【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

単位: %

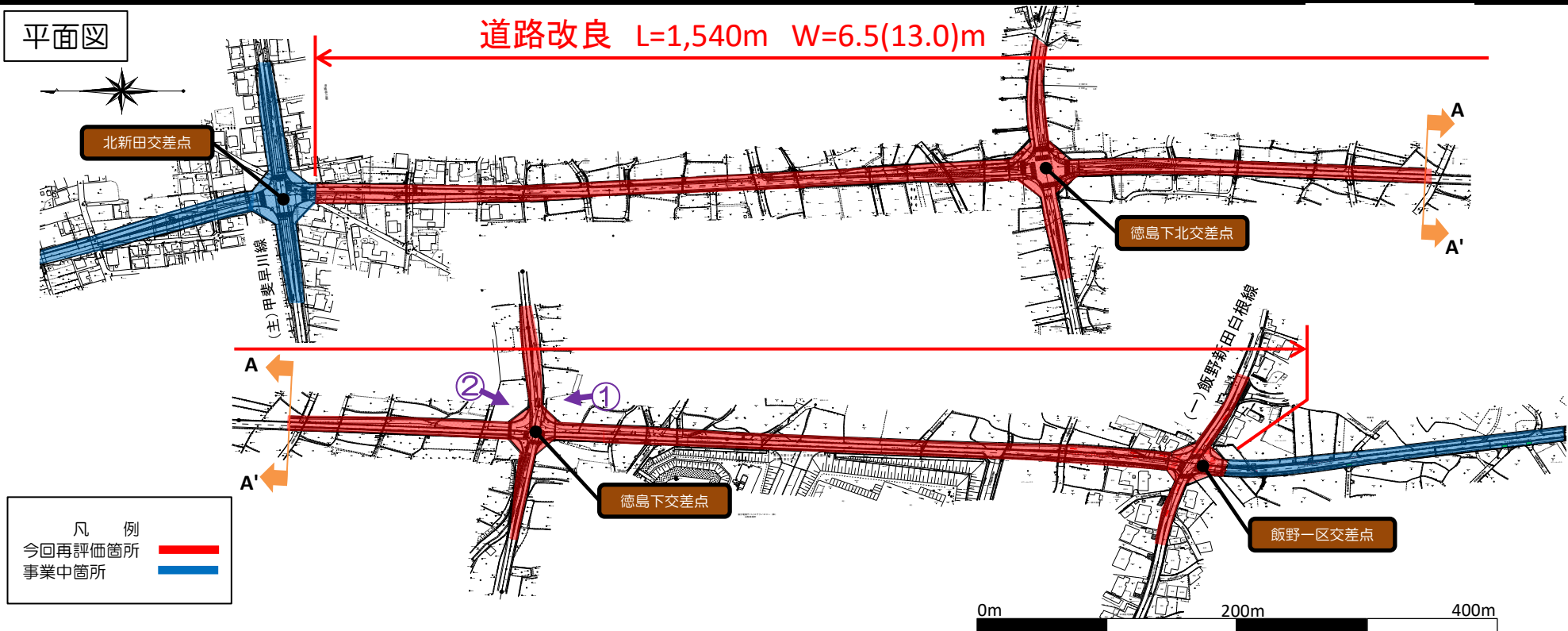
年度	*H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
現	計画	15.3	34.1	52.9	70.6	78.8	85.9	92.9	100.0						
	実績	1.99	5.87	26.4	40.7	66.0	75.9	78.5	95.5						
変更計画								54.1	61.6	69.1	77.4	87.8	92.9	97.1	100.0

*事業着手年度又は評価年度

*R6年度の実績は見込み

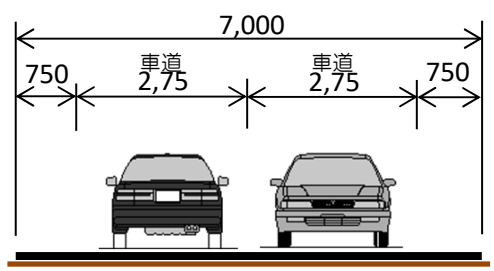
3. 添付資料シート (1)

平面図

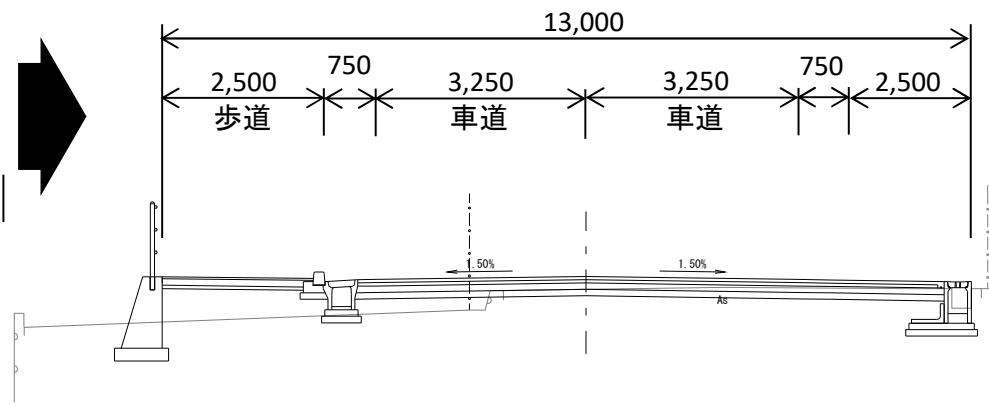


標準横断面図

改良前



改良後



3.添付資料シート(2)



① 徳島下交差点から徳島下北交差点（北方面）を望む



② 徳島下交差点から飯野一区交差点（南方面）を望む



③ 完成区間の状況（2車線・歩道あり）

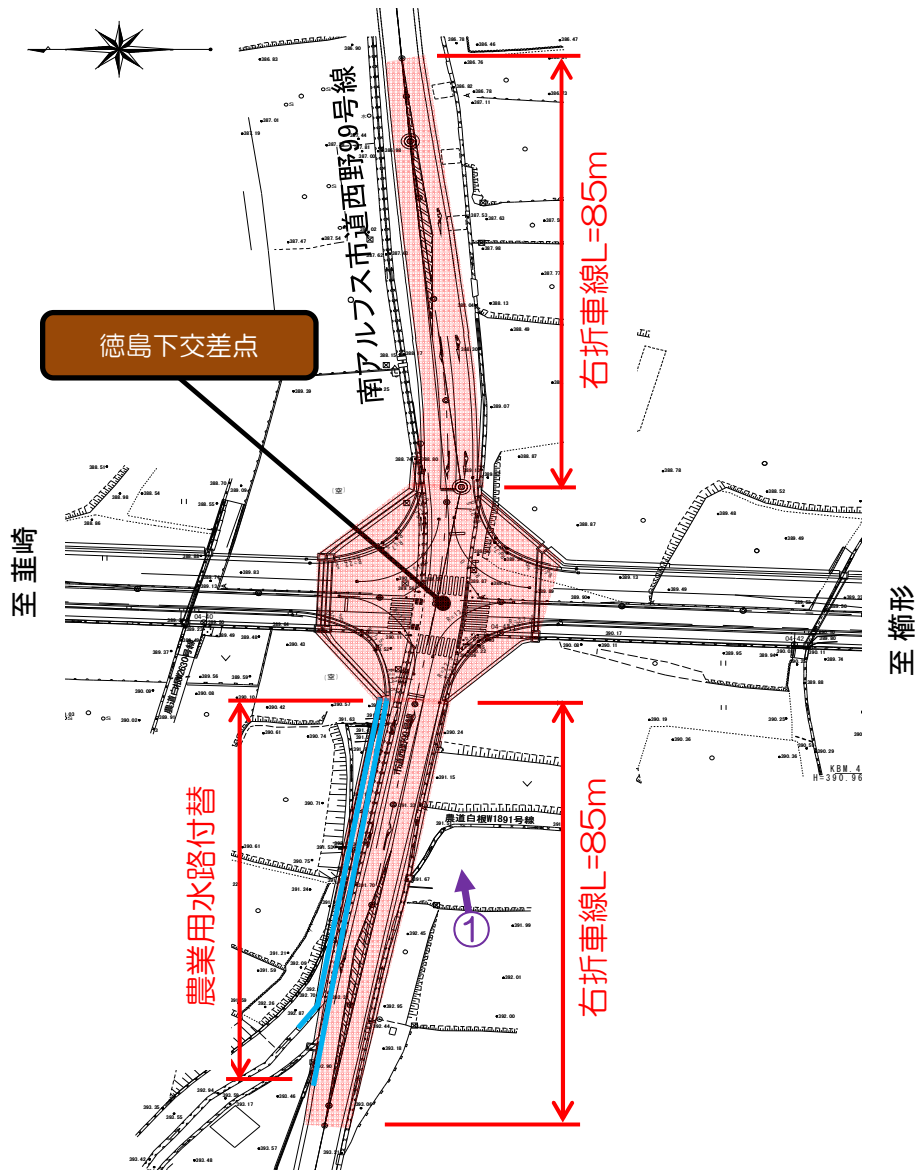


④ 現道の状況（幅員狭小・歩道なし）

3.添付資料シート(3)

変更内容①

「徳島下交差点」においては、交差道路の交通量から右折車線を設置しない計画であったが、関係機関協議により右折車線を設置することとしたため、新たに用地補償、交差点改良工事、農業用水路の付替工事が必要となった



変更内容②

現場CBR試験に基づき、舗装構成を変更した

当初

表層	5cm
基層	5cm
上層路盤	10cm
下層路盤	10cm

舗装厚t=30cm

変更

表層	5cm
基層	5cm
上層路盤	10cm
下層路盤	30cm

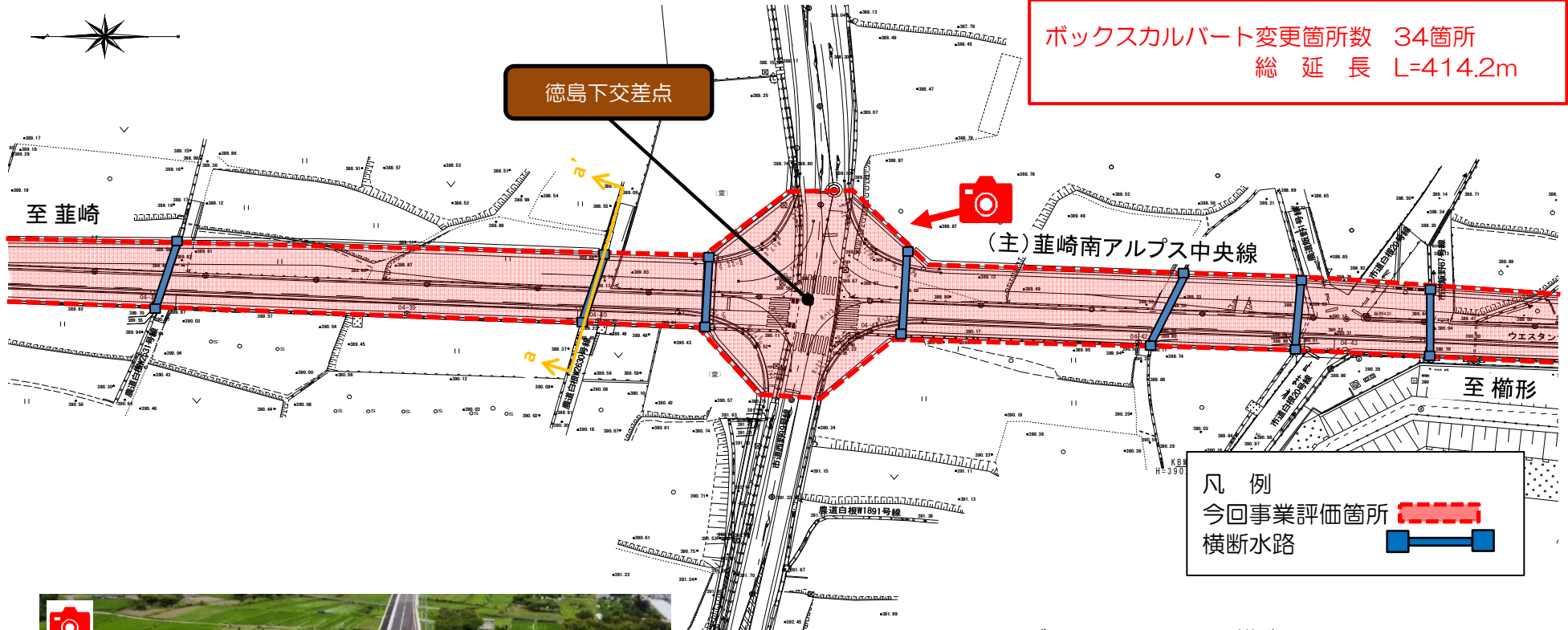
舗装厚t=50cm

3.添付資料シート(4)

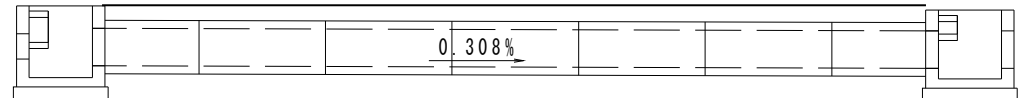
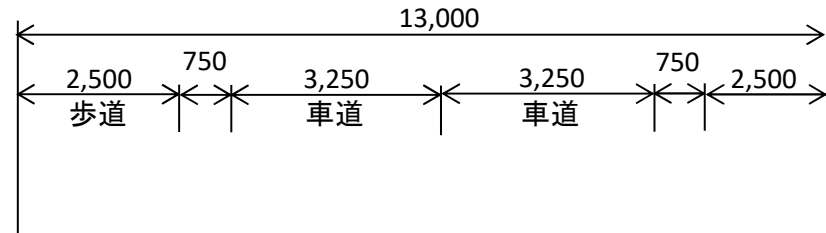
変更内容③

水路管理者との協議により、横断水路を函渠構造(ボックスカルバート)に変更した

ボックスカルバート変更箇所数 34箇所
総延長 L=414.2m



ボックスカルバート構造図
(a-a'断面)



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H29	16,908	測量・設計	1.1%
H30	32,984	用地測量、用地補償	3.3%
R1	174,367	道路詳細設計、用地補償、道路改良工	15.0%
R2	121,649	用地補償、道路改良工	23.1%
R3	215,261	用地補償、道路改良工	37.4%
R4	83,750	用地補償、道路改良工	43.0%
R5	22,590	用地補償、道路改良工	44.5%
R6	144,650	用地補償、道路改良工	54.1%
R7	112,000	用地補償、道路改良工	61.6%
R8	112,000	用地補償、道路改良工	69.1%
R9	125,000	用地補償、道路改良工	77.4%
R10	156,000	用地補償、道路改良工	87.8%
R11	76,000	道路改良工	92.9%
R12	63,000	道路改良工	97.1%
R13	43,841	道路改良工、道路台帳作成	100.0%
合計	1,500,000		